

港北ガーデンヒルズ自治会ニュース 《号外》

発行日：平成 23 年 4 月 16 日 / 発行人：檜垣雅之（自治会会長） / 編集人：吉田郁雄（広報部部长） / 編集委員：垣内敦子（広報部）、荻原ゆみ（広報部）

自治会について話し合いを行いました

「自治会の必要を気づいてもらう為の座談会」

テーマ：「自治会ってなに？」そもそも、自治会は何をする為にあるの？

はじめに

この「座談会」は、3月5日（土）の自治会月例会議にて行われました。

そして翌週の11日（金）に、「東北地方太平洋沖地震」が発生しました。その後、次々と明らかになる被災地の情報は想像を絶する悲惨な状況で、猛威を振るう自然の前では、人間の無力さを感じることも出来ませんでした。

しかし一方で、被災されている中、全員で助け合い必死に生きる人たちの交わりの中に、人間の大きな力を感じました。

今回の座談会は「東北地方太平洋沖地震」を意識して話し合ったものではありませんが、災害時を含め、私たちの生活の中で自治会がどのような役割を果たしているのか、また、今後の自治会のあるべき姿について自治会役員で意見を出し合いました。これをお読みいただき、より多くの皆様が自治会へ加入していただければ幸いです。

（Kさん）

私は横のつながりを大切に思っているので、「町内会」のような集まりに入りたいと思い自治会に入りました。

しかし、その時、自治会がはっきりと「町内会」と分かって入った訳ではありません。私と同じように自治会が何をする集まりなのかを知らない人がいると思います。私くらいの年齢の人にも分かる様に「自治会=町内会」とアピールすると良いと思います。

（Nさん）

自分は、人と人とのつながりは大事と思い自治会に入りました。人と人とのつながりがあるのはやっぱり自治会かな...

若い方は、自分の世界を持っているので、入りたくないのでしょうかね。

自分の時間を拘束される事を嫌がる意識が強いと入会は厳しいかな。僕の年代だと自治会を町内会といった方が分かり易いですね。

（Hさん）

共稼ぎをされていて、疲れて帰って来て寝だけの生活をしている人にとっては特に町内会は必要がないのではないかな。

そういう人に、イベントや防災訓練を通じて、横のつながりが、けっこう大事だよと、教えてあげたいですね。

（Sさん）

私は自治会がイベントや防災訓練だけでは無く、身近な生活にとっても役にたっているのだと言う事をアピールする必要があると思います。横浜市や都筑区と自治会の関係を知ってもらいたいですね。

例えば、毎月ガーデンの住民に都筑区の広報紙を配っているのは自治会の役員ですが、実はこの事を知らない人が多いようです。保険活動委員や民生委員も自治会に対して要請がありますね。民生委員の方と一緒にあって、お年寄りのところへ訪問したり、色々な活動をしていますね。自治会と横浜市や都筑区との関係は、非常に密接で、とても生活に密接に関係している団体ですよ。自治会が皆さんに役に立っている事を、もっと知らせたほうが良いと思いますよ。

（KBさん）

一般論になりますが、色々な団地で高齢化の問題が出ていますね。ガーデンヒルズはまだ、比較的若い人が入居しているような気がします。それでも結構ひとり暮らしのお年寄りがいると思います。一人で暮らしている人の、コミュニケーションを考えてあげる必要があると思います。

高齢化は確実にやってくる問題です。自治会が積極的に高齢化の問題をバックアップするのが良いと思いますね。

（KTさん）

自治会に入っていると、何か利点がある、目に見えて、実感して分かる取り組みが必要だと思います。

今、シルバークラブやキッズクラブは自治会の後援です。これを、自治会の活動として、やる。

このことが機能していけば、自治会の役割やメリット、意義がアピールできると思います。

(Aさん)

昔は、町内会に老人会や子供会がありましたね。マンションは、ほんと「箱」です、隣の人の顔が見えない。回覧板なら、回覧板をまわすときに、その人の顔が見えるのですが・・・。
キッズクラブやシルバークラブのイベントが一つのきっかけになって、自治会に入ってくれるといいですね。

(Hさん)

キッズやシルバーは、自治会の会員・非会員を問わず、多くの住民の方々が気軽にイベントに参加できるようにするために、自治会の活動ではなく、後援を選択していると聞いています。

(Iさん)

昔の町内会は生活する為に絶対に必要だったんです。町内会の助けがなければ葬式もだせない。
今は特に、そういうことがない。行政がどんどん便利になり、町内がなくても、あまり困ることが無くていいですね。
自治会の必要性を感じない上に、入ると役員がまわってきて。。。 (笑)

(Hさん)

自治会への入会の意味がないと思っている方が結構いると思います。そういう方には、イベントで分かってもらうようにするとか、あと、役員をやりたいくない人には、役員が楽しい事を分かってもらうとか。
私も最初は、気が重かったですが、実際やると楽しいですね。

(Kさん)

ほんと、自治会ってやってみると結構楽しいですね。
例年、自治会の役員の任期が終わると、その自治会に名前をつけて、やめた後も、交流をつづけているらしいです。(笑)

(KDさん)

あと、賃貸の人で、自治会に入れることを知らない人がいます。
管理組合は、区分所有者の集まりですが、自治会は住民ならだれでも入れます。

(Hさん)

大体、本質が見えてきましたね、大きく2つのポイント「アピール不足」、それと「役員恐怖症」この対策を考えるとよいと思います。

(Kさん)

あと、別の問題として低層棟の人数配分の問題があります。低層棟は、入居者数が少ないですね。
ある棟の、とあるエントランスは、加入者が極端に少ないです。これだとエントランス毎に1名の役員を出すと、2、3年で1度役員がまわってきます。それこそ、役員恐怖症です。

(KTさん)

私は低層棟ですが、特に棟別、エントランス別にする必要は無いのではないかと思います。
人数割りにすると、役員がすぐ回ってくる不公平を解消する事ができます。

(Yさん)

自治会の目的は、コミュニティの中で、顔見知りを増やす事にあります。
自治会に入りやすいように、「年寄りには自治会の役員は免除」とか「転勤で旦那さんがいない方は免除」「新規加入者は、3年間免除」などなど、色々と改善のアイデアはあると思います。
役員恐怖症をどうやって解消するかを、フリーディスカッションで話すのがいいと思います。

おわりに

座談会を始める前は、意見があまり出ないのではと心配していましたが、時間が足りなくなるくらい、次々と意見がでました。
紙面のスペースの関係上、かなりの部分を編集せざるを得なかった事が残念です。
こんかいの話し合いの中で、地域住民のつながりを強くして、住みやすい環境を自ら作り上げていくには、自治会は必要な存在という意見が多く出ました。そして自治会会員を増やすには、「自治会の役割、必要性のアピール不足」そして「役員恐怖症」が課題との認識になりました。
役員の選出に関する不公平感を解消するには、棟別ではない方法も検討する必要があります。